

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	研究ゼミナールB (Seminar of Study B)		
ナンバリングコード	P31702	大分類 / 難易度 科目分野	情報メディア学科 専門科目 / 応用レベル ゼミナール
単位数	2	配当学年 / 開講期	3年 / 後期
必修・選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	P170263	クラス名	清田研究室
担当教員名	清田 雄二		
履修上の注意、履修条件	卒業研究として希望する専門領域の担当教員クラスを履修すること。演習を伴う授業なので、遅刻・欠席をすると授業についていけなくなります。主体的に目標に向かって活動できること。各自で設定した研究目標に向かって取り組みます。		
教科書	必要に応じて教員が資料を指示します。		
参考文献及び指定図書	必要に応じて教員が資料を指示します。		
関連科目	情報メディア入門、初等教育のためのICT活用1・2		

○基本情報			
授業の目的	研究ゼミナールは4年次の卒業研究に着手するための準備を行うことを目的とした科目です。卒業研究に着手する上で必要となる専門領域に関するより高度な知識・技術の習得をめざします。希望調査の後に配属先研究室は決定されます。 各自でテーマに沿って取り組みます。社会人基礎力における総合的な能力の育成に取り組みます。		
授業の概要	テーマに沿って各自、又はグループで主体的に取り組めます。		
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習形式」	
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」	
	(3) アクティブ・ラーニング	「PBL(課題解決型学習)」	
地域志向科目	カテゴリー III: 地域における課題解決に必要な知識を修得する科目		
実務経験のある教員による授業科目	清田雄二 小学校の教育現場で、講師・教諭・主幹教諭・教頭・校長と役職を変えながら34年間勤務している。		

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	教育技術・教育方法(特にICT活用)に対して高い関心を持ち、自身が決めた研究テーマに向け、意欲的に情報を収集し、計画的に学習を進めることができる。			10点
【知識・理解】	自身が決めた研究テーマを進める上で必要な基礎的知識を理解することができる。		15点	15点
【技能・表現・コミュニケーション】	自身が決めた研究テーマを進める上で必要な基礎的な技能と表現力を身につけることができる。		15点	15点
【思考・判断・創造】	自らの研究内容を省察し、課題解決のための方策について工夫改善することができる。		15点	15点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
研究に対する取り組み姿勢(10点)、レポート課題(45点)、期末発表(45点)で評価します。 [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。 評価結果はゼミの時間でその都度フィードバックします。	

○その他	
必要に応じて学校や地域の課題解決につながる教育活動に参画する場合があります。その場合、日時等については随時相談しながら実施します。 ICTを授業や校務で利活用していくための技術向上を図る演習も行いますが、即戦力としての教員養成を図るべく「学級経営」「児童理解」「危機管理」「保護者対応」等の学校教育に資する専門的な学習も並行して行います。	

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	研究ゼミナールB (Seminar of Study B) 清田 雄二	授業コード	P170263
学修内容				
1. ガイダンス(1・2回) 研究ゼミナールBでの目標、卒業研究に向けた計画だてた取り組みについて説明します。その後、今学期の取り組みの目標を立てます。				
予習	研究ゼミナールにて取り組みたいことについて考えてきなさい。			約2時間
復習	取り組みたいことについて、プレゼン資料にまとめます。			約2時間
2. 発表会(3・4回) 今期取り組むことについて、発表を行います。また発表内容に対してディスカッションを行います。				
予習	プレゼン資料を用意し、発表の準備を整えてください。			約2時間
復習	今期の取り組みについて考えてください。			約2時間
3. 取り組み①(5・6回) 自身で立てた取り組み計画に沿って、取り組みます。				
予習	今回の取り組みの準備をしてきてください。			約2時間
復習	今回の取り組みをまとめ、次回までにやってくることを取り組んでください。			約2時間
4. 取り組み② 報告会(7・8回) 自身で立てた取り組み計画に沿って、取り組みます。				
予習	プレゼン資料を用意しておきなさい。			約2時間
復習	取り組み目標と計画を見直し、各自で取り組みなさい。			約2時間
5. 取り組み③(9・10回) 自身で立てた取り組み計画に沿って、取り組みます。				
予習	今回の取り組みの準備をしてきてください。			約2時間
復習	今回の取り組みをまとめ、次回までにやってくることを取り組んでください。			約2時間
6. 取り組み④(11・12回) 自身で立てた取り組み計画に沿って、取り組みます。				
予習	今回の取り組みの準備をしてきてください。			約2時間
復習	今回の取り組みをまとめ、次回までにやってくることを取り組んでください。			約2時間
7. 取り組み⑤(13・14回) 自身で立てた取り組み計画に沿って、取り組みます。				
予習	今回の取り組みの準備をしてきてください。			約2時間
復習	今回の取り組みをまとめ、次回までにやってくることを取り組んでください。			約2時間
8. 取り組み⑥ 報告会(15・16回) 自身で立てた取り組み計画に沿って、取り組みます。				
予習	プレゼン資料を用意しておきなさい。			約2時間
復習	取り組み目標と計画を見直し、各自で取り組みなさい。			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	研究ゼミナールB (Seminar of Study B) 清田 雄二	授業コード	P170263
学修内容				
9. 取り組み⑦(17・18回) 自身で立てた取り組み計画に沿って、取り組みます。				
予習	今回の取り組みの準備をしてきてください。			約2時間
復習	今回の取り組みをまとめ、次回までにやってくることを取り組んでください。			約2時間
10. 取り組み⑧(19・20回) 自身で立てた取り組み計画に沿って、取り組みます。				
予習	今回の取り組みの準備をしてきてください。			約2時間
復習	今回の取り組みをまとめ、次回までにやってくることを取り組んでください。			約2時間
11. 取り組み⑨(21・22回) 自身で立てた取り組み計画に沿って、取り組みます。				
予習	今回の取り組みの準備をしてきてください。			約2時間
復習	今回の取り組みをまとめ、次回までにやってくることを取り組んでください。			約2時間
12. 取り組み⑩ 報告会(23・24回) 自身で立てた取り組み計画に沿って、取り組みます。				
予習	プレゼン資料を用意しておきなさい。			約2時間
復習	取り組み目標と計画を見直し、各自で取り組みなさい。			約2時間
13. 取り組み⑪(25・26回) 自身で立てた取り組み計画に沿って、取り組みます。				
予習	今回の取り組みの準備をしてきてください。			約2時間
復習	今回の取り組みをまとめ、次回までにやってくることを取り組んでください。			約2時間
14. 卒業研究 口頭試問に参加(27・28回) 4年生の卒研発表会に参加。来年度にに取り組む発表会に参加することから、準備すること、取り組み、計画性、発表練習の重要性、質疑応答など、様々な学習に取り組めます。				
予習	過去の卒研について調査			約2時間
復習	卒研発表会の取り組みについてまとめる。			約2時間
15. 卒業研究 学科代表選考・ポスターデモに参加(29・30回) 4年生の卒研発表会に参加。来年度にに取り組む発表会に参加することから、準備すること、取り組み、計画性、発表練習の重要性、質疑応答など、様々な学習に取り組めます。				
予習	過去の卒研について調査			約2時間
復習	卒研発表会の取り組みについてまとめる。			約2時間
16.				
予習				
復習				